

ジェネリック医薬品を

使ってみませんか？

ジェネリック医薬品って最近よく聞くけど、これまでの薬と何が違うの？

これまでの薬代より安くなるらしいけど、効果は同じなの？



どのくらい安いの？



お薬の価格は4割以上、中には5割以上安くなる場合もあります。

新しい医薬品は開発に長い時間と多くの費用がかかりますが、ジェネリック医薬品は開発期間が短くて済むので、その分価格が安くなります。

※窓口でお支払いいただく患者負担金は、お薬の費用のほか、調剤料などが加わります。

＜先発医薬品とジェネリック医薬品の価格設定の比較＞

先発医薬品

原料・その他

研究・開発費

ジェネリック医薬品

原料・その他

研究・開発費

効き目は確かなの？



効き目はもちろん、安全性も先発医薬品と同等ですので、安心して使うことができます。

ジェネリック医薬品は、これまで効き目や安全性が実証されてきたお薬と同等と確認された上で、製造、販売が許可されています。

同じ有効成分



先発医薬品(新薬)

ジェネリック医薬品

種類はたくさんあるの？

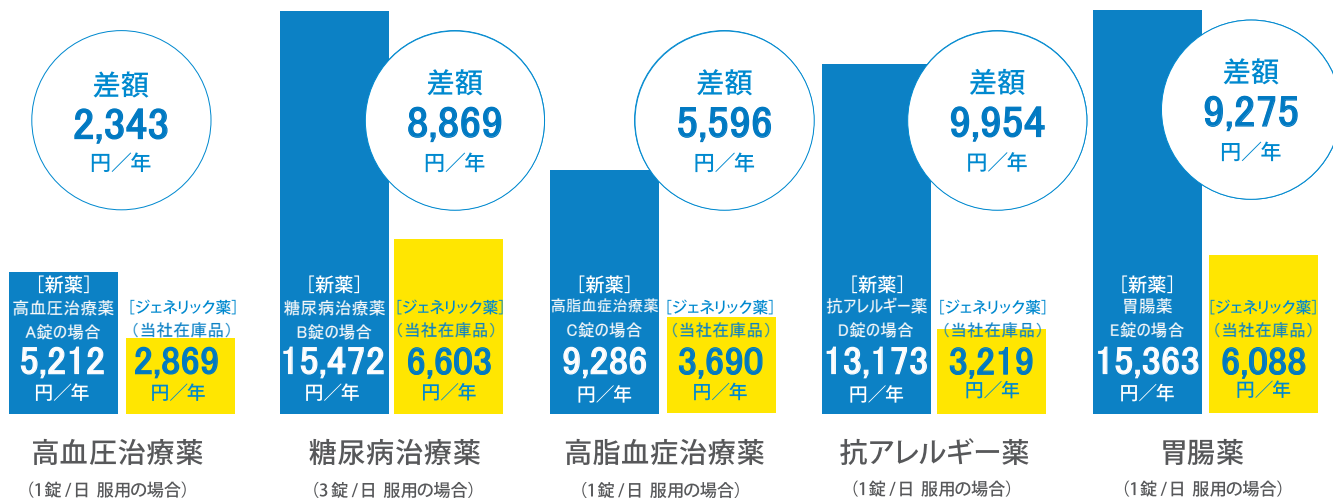


さまざまな病気や症状に対応しています。

高血圧や高脂血症のお薬、糖尿病のお薬など、さまざまな病気や症状に対応しています。カプセル、錠剤、点眼剤など形態も豊富です。

※すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。

多く使用されている新薬とジェネリック医薬品の自己負担額の比較の一例です(自己負担3割の場合)



●表記している金額は、平成28年4月時点での調剤報酬中の薬剤費の試算であり、調剤技術料は含まれておりません。

●処方された医薬品が特許期間中であつたり、処方せんに変更不可の指示があつた場合は、ジェネリック医薬品に変更できない場合があります。